

2022年
10月1日号

町内会便り

恵み野南

発行 恵み野南町内会
広報部連絡先(31)1596



南町内会HP

避難所開設訓練を実施しました

9月11日(日)9時から、恵み野小学校にて避難所開設訓練を、南・西・里美の3町内会合同で実施しました。今回の訓練は恵庭市が策定した『避難所運営初動ガイド【恵み野小学校】』に沿って、本ガイドの有効性、実行可能性を検証するとともに、自主防災会の活動能力の向上を図ることを目的としました。

訓練の状況設定は、震度6強の地震が発生し、各町内会は災害対策本部を立上げ被災状況の確認と救援活動を実施しつつ、一部の役員をもって避難者と共に避難所を設置するというものです。

3町内会の役員約40人が小学校玄関前に集まり、訓練の概要説明を実施後、訓練を開始しました。まず「避難所運営初動ガイド」に基づき、体調判定(ヒアリング及び検温)所と、町内会毎の受付所を設置するとともに、避難者居住区(体育館)の使用区分表示等を行い避難者受け入れ体制を確立しました。その後、全員が避難者となり体調判定と受付要領(受付用紙及び避難者カード記入)を体験しました。その結果、受付場所は薄暗く、また夜間の受付も有り得ることから「灯りの確保」が不可欠であること、「避難者カード」の文字が小さく改善の必要性があること等、多くの成果を得ることができました。

体育館では、ステージ下に格納された防災用資器材の確認を予定しましたが、格納場所が想像以上に広く防災用資器材も膨大であることから、次回の訓練課題として持ち越すことと致しました。

また体育館において、恵庭市から簡易トイレの展示がなされました。簡易トイレは、使用后ボタン一つで袋が密閉される仕組みで、きれいな状態で使用可能とのことでした。

今回の訓練は、避難所を運営するための初動訓練でしたが、実際の災害時においては想像以上に複雑で困難な状況が生起するのではないかと思います。

今後も災害対処訓練等を実施し、事態に適応できる対処能力の向上に努めていきたいと思っておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い致します。(自主防災会)



恵み野小に集合



受付の様子



簡易トイレ

“はなふる”でウォークラリー

先月号でお知らせした南町内会の会員親睦交流事業「2022ウォークラリー秋」を10月10日(月)に開催します。町内会の会員の皆様が秋の爽やかな風の中を歩いて、家族や会員相互の親睦・絆を深めて頂ければ幸いです。事前に申し込みのない方でも参加できます。参加にあたっては、エコバック等(賞品等お持ち帰り用)をご持参ください。(総務部)

1. 開催日時 : 10月10日(月) 受付は9時30分~10時まで 開催実施の場合は、朝8時に花火を打ち上げます。(花火が上がらない場合は、10月23日(日)に延期となります)
2. 受付場所 : はなふるセンタービル前広場(旧保健センター)
3. 実施要領 : 受付が終わり次第随時スタートし、はなふるの遊歩道を1周します。
4. 感染防止対策のため、次の事項の厳守をお願いします。
 - (1) 受付前に、検温と手指消毒をして頂きます。体温:37.5度以上の場合は、家族単位で参加を辞退して頂きます。
 - (2) マスクの着用をお願いします。
 - (3) グループ間は、2m前後の距離を取ってください。
 - (4) 大声での会話をご遠慮ください。
 - (5) ゴミは各自持ち帰ってください。



♠ 10月22日は京都の時代祭。明治維新以前の各時代の衣装の行列が見もの。夜は鞍馬の火祭。 ♠

ようこそ!

南町内会へ

新たに1丁目の佐藤様が南町内会員に
加わりました。

よろしくお願いいたします。



また、2丁目の小井様宅
に女の子が誕生いたしました。
おめでとうございます。
すくすくと元気に育って
くださいね。(総務部)

秋の交通安全運動

9月21日~30日までの「全国交通安全運動」の実施に伴い、平日の朝の通学



時間に合わせて、恵み野
小学校児童への街頭指導を
実施いたしました。

秋の衣更えを行った児童
が元気よく通学していきま
した。(防犯部)

恵み野小学校コミュニティ・スクール 収穫の日



9月10日、恵み野小学校横の畑において、春に植えたじゃがいもや大根を掘り起こす収穫の日を迎えました。例年ですと、収穫した野菜を調理して皆でごちそうになりますが、コロナが終息しない現在、各自に持ち帰っていただきました。皆さん、美味しく召しあがったかな。(広報部)



北海道に秋がやってきた!



いよいよ秋も本番。コロナ禍でなかなか人の集まる所には行けないかも知れませんが、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋などとも言われています。「さっぽろオータムフェスト 2022」は終わってしまいましたが、道内には様々なイベントがあるようです。更に、展覧会などに行って日常からちょっとだけ離れてみるのもよいのではないのでしょうか。先日、『金子みすゞの世界』を見に行ってきました。金子みすゞさんってわかりますか? 東日本大震災後に多くのCMが放送されなくなった中、TVに流れた『こだまでしょうか』の詩の作者です。

「遊ぼう」というと 「遊ぼう」という。
「馬鹿」というと 「馬鹿」という。
「もう遊ばない」というと 「もう遊ばない」という。
そして、あとで さみしくなって、
「ごめんね」というと 「ごめんね」という。
こだまでしょうか、いいえ、誰でも。



(出典:「金子みすゞ詩集百選」)
(紙面の都合で改行を入れました)

彼女の詩には心に響いてくものがあり、震災後の殺伐とした気持ちを慰めてくれました。若くして(26歳)で亡くなってしまいましたが、素晴らしい感性です。是非行ってみてください。

『国宝・法隆寺展』も北海道にいるとなかなか目にできない作品を見るよい機会ではないでしょうか。昨年が聖徳太子の没後 1400 年ということで開催される催しです。今回の展示では白鳳時代に造られた観音菩薩立像などの国宝・重要文化財を間近で見ることができます。私は行っていませんが、古の斑鳩の里に行った気分になれるかも。 (昌)



『金子みすゞの世界』 ~10月23日まで 北海道立文学館(地下鉄中島公園駅徒歩数分)
『国宝・法隆寺展』 ~10月30日まで 北海道立近代美術館(地下鉄西18丁目駅徒歩数分)

♠ 10月22日は京都の時代祭。明治維新以前の各時代の衣装の行列が見もの。夜は鞍馬の火祭。 ♠